

<速報>

\* 3月1日、EUのユンケル欧州委員長（首相に相当）がEUの未来像の選択肢を示す「白書」を発表した。「最も野心的な案」として、政治・経済統合を突き詰めた「欧州連邦」を掲げた。

\* 3月1日、トランプ政権が年次の通商政策の報告書で貿易紛争に関するWTOの反dさんについて、米国に不利な場合には従わない姿勢を示した。

\* 3月1日、イラク避難民・移民省が声明を出し、「イスラム国」からの奪還作戦が続くモスルの西部地区から過去10日間で2万6000人が脱出したと明らかにした。

\* 3月1日、コンゴ（旧ザイール）政府軍高官が1月末以降に起きた反政府武装勢力「3月23日運動（M23）」との衝突で戦闘員20人を殺害したことを公表した。

\* 3月1日、アフガニスタンの首都カブールで警察署など2ヶ所を狙った爆弾テロがあり、少なくとも16人が死亡、約50人が負傷した。

\* 3月1日、ウクライナ東部を占拠する親ロシア派勢力は、支配地域内で活動するウクライナ企業を強制管理に移すと発表した。

\* 3月2日、スウェーデンのフルトクビスト国防相が7年前に廃止した同国の徴兵制を2018年1月から復活させる方針を明らかにした。兵士に志願する若者が減るなか、近隣の軍事大国ロシアの武力外交をにらみ軍事力を強化する。

\* 3月2日、シリアのアサド政権軍が内陸の交通の要衝である中部パルメラを、「イスラム国」から再び奪還したと発表した。同地は2015年5月に「イスラム国」が制圧し、昨年3月に政権軍が奪還、同12月に再び「イスラム国」が侵攻し、政権軍が撤退していた。

\* 3月2日、エジプトの破棄院（最高裁に相当）が2011年の民主化革命「アラブの春」でデモ隊に発砲を命じたとして殺人罪に問われたホスニ・ムバラク元大統領（88）に対する2度目のやり直し裁判で無罪を言い渡した。

\* 3月2日、EUの欧州議会がフランス大統領選挙の有力候補である極右・国民戦線（FN）のルペン党首（欧州議会議員）の不逮捕などの免責特権停止を賛成多数で承認した。

\* 3月2日、トランプ大統領がバージニア州ニューポートニューズに停泊する最新空母「ジェラルド・フォード」の艦上で行った演説で、「世界最強の装備を手にする」と強調し、米海軍の空の保有数を現在の10隻体制から12隻体制に増強する計画を発表した。

\* 3月2日、イギリスの北アイルランドで実施された自治議会選挙（90議席、定数18減）の開票作業が4日に終了し、フォスター自治政府首相が率いるプロテスタント系の民主統一党（DUP）が28議席を得て第1党を維持した。カトリック系のシンフェイン党は27議席で第2党を維持した。

\* 3月3日、イギリスのメイ首相がスコットランドのグラスゴーで開催された与党・保守党の会合で演説し、スコットランド自治政府は独立に「取りつかれている」と非難し、独立に反対する姿勢を改めて強調した。

\* 3月3日、米国国防省のデービス報道部長が記者会見で、イエメンで同日、「アラビア半

島のアルカイダ（AQAP）」を標的に数回の空爆を行ったと発表した。空爆は2日連続で計30回を突破した。

\* 3月3日、アフガニスタン西部のバラブルグで爆発に巻き込まれた子どもを含む少なくとも市民8人が死亡した。住民から軍の誤爆を非難する声が上がっている。

\* 3月4日、中国人民代表大会（全人代）の傳蜚報道官が記者会見し、2017年の国防予算案の伸び率について「(前年比で7%前後になると明らかにした。2年連続で伸び率が1桁にとどまった。

\* 3月4日付け米紙『ニューヨーク・タイムズ』（電子版）がオバマ大統領が約3年前に「北朝鮮のミサイル発射試験を妨害するため、サイバー・電子攻撃を強化するよう国防総省に命じていたと報じた。

\* 3月4日付け英紙『タイムズ』が、イギリスがEUを離脱する際、EUから未払いのEU予算分担金などを納めるよう迫られても、「支払う必要はない」との見解をイギリス政府の法律専門家がまとめたと報じた。EUは、イギリスに600億ユーロ規模の請求を行うとみられている。

\* 3月5日、国連人道問題調整事務所（OCHA）が同日付け声明で、最近のシリア北部での戦闘で北部バブー帯から新たに約6万5000人の避難民が発生した。

\* 3月5日、中国の全国人民代表会議（全人代）第12期第5回会議が北京の人民大会堂で開幕。李克強首相が政府活動報告を読み上げ、今秋の中国共産党第19回大会の開催を「優れた成果を挙げ、勝利のうちに迎えよう」と強調。「習近平総書記(国家主席)を核心とする党中央」という言葉を6回繰り返し、党中央の強い指導の下で、経済の健全な発展と社会の安定化を実現するよう訴えた。また、今年のGDP目標を「6.5%前後」とすると表明した。

\* 3月5日、キューバのカストロ国家評議会議長が国営テレビで行った演説で、トランプ大統領の通商政策を「傲慢」、メキシコ国境への壁建設計画を「理不尽だ」などと厳しく批判した。同議長がトランプ大統領の就任以降に批判的な見解を示したのは初めて。

\* 3月5日、トランプ大統領がツイッターでオバマ前大統領によって電話を盗聴されたと主張したことに関し、FBIのコミー長官はトランプ大統領の主張を否定するよう司法省に求めた。

\* 3月6日、ミャンマー北東部シャン州の中国国境の町ラオカイで武装集団が警察署やホテルに攻撃を仕掛け、市民や警官を含む少なくとも30人が死亡した。少数民族コーカン族の武装勢力、ミャンマー民族民主同盟軍（MNDAA）によるものと見られる。

\* 3月6日、トランプ大統領が、米国への入国を禁止する対象からイラク国民を除き中東・アフリカ6ヶ国にし、永住権と査証保持者も禁止対象から外す新大統領令に署名した。

\* 3月6日、EUはブリュッセルで外相・国防相合同会議を開き、EU各国が域外で行っている軍事支援を一元的に統括する組織を新設することを全会一致で承認した。

\* 3月6日、米国国防省が沿岸国が過剰な海洋権益を主張しているを見なした海域に、米国が艦船などを送り込む「航行の自由作戦」に関する年次報告書を公表し、2015年10月

から2016年9月までの間、中国など22ヶ国・地域を対象に作戦を実施した。

\* 3月7日、北朝鮮の朝鮮中央通信が北朝鮮が日本海に向けて4発発射した弾道ミサイルについて、有事の際に在日米軍基地への攻撃を担う朝鮮人民軍戦略軍火星砲兵部隊の訓練だったと報じた。

\* 3月7日、イラク北部モスルの西部地区で「イスラム国」からの奪還作戦を進めるイラク治安部隊は州政府の庁舎などを制圧した。

\* 3月7日、「イスララク国」が首都と位置付けるシリア北部ラッカの攻略を目指すクルド人主体の「シリア民主軍 (SDF)」は、ラッカと東部デリゾール県を結ぶ道路を遮断した。「イスララク国」はラッカからの脱出が困難となった。

\* 3月7日、オバマ大統領がウイッターで「オバマ政権がグアンタナモ収容所から釈放した122人の残忍な囚人が、再び戦場に戻っている。またひどい決定だ」と批判。しかし実際は、オバマ試験下で釈放されたのは122人のうち9人。固法はそれ以前の政権下で釈放された。

\* 3月7日、インタファクス通信等が、ロシア軍のゲラシモフ参謀総長と米軍のダンフォード統合参謀本部議長、トルコ軍のアカル参謀総長がトルコ南部アンタルヤで会談したと報じた。「シリアおよびイラクの安全保障問題について話し合い」を行った。

\* 3月7日、「ウィキリークス」がCIAのハッキング技術の関する内部資料を入手したと発表するとともに、その一部を公開した。「これが解き放たれば瞬時にして世界中へ拡散し、対立国や“サイバーマフィア”に利用されかねないと警告している。

\* 3月7日、ハワイ州政府が、イスララク国6ヶ国からの入国を禁止する新たな大統領令について、暫定的な執行差し止めを求めてホノルル連邦地裁に8日に提訴することを明らかにした。

\* 3月7日、インド中部マディヤプラディッシュ州で走行中の列車内で爆弾が爆発し、少なくとも9人が負傷した。警察は監視カメラ映像などから犯行に加わった疑いで6人を逮捕。爆弾には「我々“イスララク国”はインドにいる」と書かれていた。

\* 3月7日、ハンガリー議会が入国した難民申請希望者全員を拘束する法案を可決した。難民審査終了までの間、隣国との国境沿いの施設に収容する。

\* 3月8日午前、アフガニスタンの首都カブールでアフガン軍最大の軍病院を狙った自爆、攻撃があり、少なくとも38人が死亡、50人以上が負傷した。何者かが正面玄関で自爆し、その間に武装した男数人が侵入した。「イスララク国」支部が犯行声明を出した。

\* 3月8日、シリアの反体制派の有力武装組織「アフラル・シャーム」のアフメド・カラアリ報道官が、トルコ南部アンタキヤで会見し、同組織がシリア内戦の和平協議に加わるには、「アサド大統領退陣が不可欠。この条件が満たされない限り和平協議参加はありえない」と語った。

\* 3月8日、フィリピン議会が米国の市民権を得ていたのに虚偽の証言をしたとして、ヤサイ外相の承認を拒否した。

\* 3月9日、米国中央軍のポテル司令官が上院軍事委員会の公聴会で証言し、アフガニスタンでの米軍の活動に関する新戦略を策定中で、「戦力の追加が盛り込まれていると確信している」と述べ、部隊増派の必要性を強調した。同日、米軍がシリアに400人規模の部隊増派を行うことがロイター通信など複数のメディアが報じた。

\* 3月9日、イギリス・スコットランド自治政府のスタージョン首相が同日放映のBBC放送とのインタビューで、スコットランド独立の是非を問う2度目の住民投票について、2018年秋に実施するのは「常識的だ」との見方を明らかにした。

\* 3月9日、ワシントン州政府がイスラム国6ヶ国からの入国を禁止する新たな大統領令について、「違憲だ」として執行差し止めを求める申し立てを行うとシアトル連邦地裁に通告した。

\* 3月9日、EUがブリュッセルで首脳会議を開き、欧州理事会常任議長（EU大統領）に現職のトゥスク氏を再選した。同氏の出身国であるポーランドのシドゥウォ首相は反発し、同大統領の再選を承認する文書への署名を拒否した。

\* 3月10日、日本政府が首相官邸で国家安全保障会議（NSC）を開き、南スーダンの国連平和維持活動（PKO）に派遣している陸上自衛隊の施設部隊を5月末に撤収させる方針を決めた。

\* 3月9日、ドイツのガブリエル外相が、モスクワでロシアの軍備増強や米国の軍事予算増額が新たな軍拡競争に陥る危険があると警告した。

\* 3月10日、EUのトゥスク大統領が、イギリスが正式にEU離脱を通告した場合、「48時間以内」に対応し、離脱交渉に着手する方針を示した。

\* 3月10日、米国国防総省のデービス報道官が記者会見で、在韓米軍への最新鋭地上配備型迎撃システム「高高度防衛システム（THAD）」配備について「合意されており、引き続き取り組んでいく」と述べ、韓国の大統領交代によっても計画に変更はないとの見解を示した。

\* 3月10日、キューバのハバナで開催されたカリブ諸国連合25ヶ国（AEC）の外相級会合が開催され、トランプだいたいようがメキシコとの国境に壁をつくと表明し、特定の宗教や移民を敵視していることを批判し、地域で結束して排外主義と戦う姿勢を確認した。

\* 3月11日、シリアの首都ダマスカスで、2度の連続爆発があり、少なくとも74人が死亡、多くの負傷者が出た。現場は首都中心部の旧市街周辺で、有名な宗教指導者の墓地の近くで、巡礼者を乗せたバスを狙った自爆攻撃だった。12日、「シャーム解放委員会（旧ヌスラ戦線）」が犯行声明を出した。

\* 3月11日、トルコのサヤン・カヤ家族・社会政策相がオランダ南部ロッテルダムに到着し、トルコ総領事館に向かおうとしたが、30メートル手前でオランダ警察に阻止され、現場で押し問答を繰り返す騒ぎとなった。

\* 3月12日、トルコ閣僚がオランダ訪問を阻止された問題で、トルコの最大都市イスタンブールで抗議する市民がオランダ総領事館に乱入し、オランダ国旗を引きずり降ろし、代わりにトルコ国旗を掲揚した。

\* 3月12日、イラク治安部隊の司令官が「イスラム国」との戦いが続く北部モスルの西部地区について、「おおむね3分の1以上がわれわれの部隊の支配下に入った」と述べた。

\* 3月13日、EUから「離脱するイギリスと一線を画し、EUとの関係維持を求めるスコットランド自治政府のスタージョン首席大臣が、イギリスからの独立の是非を問う住民投票を再実施するため、イギリス政府との協議を開始すると表明した。

\* 3月13日、米国ワシントン州が、中東・アフリカ6ヶ国からの入国を禁止する新たな大統領令の執行差し止めなどを求めてシアトル連邦地裁に正式に提訴した。

\* 3月13日、米国議会予算局が、トランプ政権が優先課題とする「医療保険制度改革（オバマケア）」の廃止で無保険者が2018年に1400万人、26年までに2400万人、それぞれ増えるとの試算を発表した。

\* 3月13日夜、イギリスの議会がEUとの離脱交渉を正式に開始する「離脱通知」を行う権限をメイ首相に与える法案を、原案通り可決した。

\* 3月14日、ルクセンブルグのEU司法裁判所が、イスラム教徒の女性がかぶるスカーフの職場での着用禁止をめぐる社内の内規に定めてあれば差別にあたらないとする判決を下した。

\* 3月14日、米国外交専門誌『フォーリン・ポリシー』が、ティラーソン国務長官が今秋、人権団体に送った書簡で国連人権理事かに関し、「相当の改革」を行わなければ離脱すると警告したと報じた。

\* 3月15日、中国の全国人民代表会議（全人代）が閉幕し、李克強首相が記者会見した。同首相は北朝鮮の核・ミサイル問題で、北朝鮮や米国、韓国などに「対話路線」に戻るよう呼び掛けた。

\* 3月15日、シリアの首都ダマスカスの中心部で爆発があった。少なくとも39人が死亡し、60人以上が負傷した。爆弾チョッキを着た実行犯が裁判所の建物内で自爆した。ダマスカスの別の場所にあるレストランでも爆発があり、25人が負傷した。

\* 3月15日、オランダで下院選挙（150議席、比例代表制度）が実施され、暫定結果（開票率約95%）によると、ルッテ首相日キル与党・自由民主党が大幅に議席を減らしながらも第1党を維持。「脱イスラム」や移民排斥、EU離脱を掲げる極右・自由党は5議席増で第2党となるも、自民党に大差をつけられ、躍進は阻まれた。自由民主党33（-8）、労働党9（-29）、滋養等20（+5）、キリスト教民主アピール党19（+6）、民主66：19（+7）、緑の党14（+10）、社会党（14（-1））だった。

\* 3月15日、ブラジルのサンパウロやブラジリア、リオデジャネイロなど主要都市で、年金改悪に反対するデモが行われ、多くの公務員、農業労働者、労組員が参加した。

\* 3月15日、米国のハワイ州の連邦地裁が、トランプ大統領が署名した難民や中東・アフリカ6ヶ国の国民の米国入国を一時停止する新たな大統領令について、全米で執行を停止する決定をした。

\* 3月16日、フランスのパリ中心部にあるIFMの事務所で配達された小包が爆発した。職

員が軽い火傷を負った。

\* 3月16日、トランプ政権が国務省関連の予算削減について、「大半が対外援助に集中する」と明らかにした。

\* 3月16日、ミャンマー西部ラカイン州のイスラム系少数民族派民族ロヒンギャをめぐる問題で、ミャンマー政府が設置した諮問委員会（委員長：アナン元国連事務総長）が中間報告を発表し、治安部隊によるロヒンギャへの人権侵害疑惑に関して同国政府に対し、「独立かつ公平な調査に基づき、深刻な人権侵害を犯した者の責任を問うべきだ」と訴えた。

\* 3月16日、シリア北部アレッポ県西方の反体制派支配地域のジオ村でモスクが空爆され、少なくとも46人が死亡し、多数が負傷した。米軍による誤爆であった可能性がある。

\* 3月16日、ティラーソン米国国務長官が韓国を訪問し、ユンビョンセ外相と会談し、北朝鮮が非核化に向けた具体的な行動を起こさない限り、対話には応じないというオバマ政権の「戦略的忍耐」政策は「もう終わった」と明言、前政権との違いを強調した。

\* 3月17日、トランプ大統領とメルケル首相がワシントンで会談し、会談後の記者会見でトランプがテロ対策として厳格な移民取り締まり策を続けると表明した。これに対し、メルケル首相は、「難民ことも考慮しなければならない」と指摘し、考え方の違いを強調した。

\* 3月17日、フィリピンのドゥテルテ大統領が同国を訪問した中国の汪洋副首相と南部ダバオで会談し、同大統領は「2国間の絆は貿易と商業面で特に強化されている」と関係改善の動きを評価し、南シナ海の領有権をめぐる両国間の紛争の平和的解決の重要性も強調した。

\* 3月17日、ドイツツィリース経済相が、トランプ政権が検討している「国境税」についてWTOに提訴する可能性を示唆した。

\* 3月17日、トランプ政権が、中東・アフリカ6ヶ国国民の一時的入国停止する大統領令に関して、執行停止を命じた先のメリーランド州連邦地裁の仮処分を不服とし、高裁に上訴する方針を裁判所に文書で伝えた。

\* 3月18日、ティラーソン米国国務長官が訪中し、北京で王毅外相と会談した。共同会見で同国務長官は、北朝鮮の核・ミサイル開発により「緊張が危険なレベルに達している」と警告し、中国側に協力を迫った。一方、王毅外相は沖縄県の尖閣諸島や台湾をめぐる問題を持ち出し、トランプ政権を牽制した。

\* 3月18日、パリ郊外のオルリ空港で空港を警備していた兵士から男が銃を奪って逃走し、治安部隊に射殺された。

\* 3月18日、ドイツ南西部バーデンバーデンで開かれていたG20財務省・中央銀行総裁会議が共同声明を採択して閉幕した。最大の焦点であった貿易分野では、これまでの声明にあった「保護主義に対抗する」という文言は入らなかった。

\* 3月18日、ナイジェリア北東部ポルノ州の州都マイドゥグリ近郊で自爆テロがあり、4人が辛抱、8人が負傷した。実行犯は男1人と女1人。

\* 3月18日付けスペイン各紙が、「バスク祖国と自由（ETA）」が武器の保管場所を記した

資料を4月上旬にもフランス当局に提出する見通しとなった。スペイン、フランス両国政府は完全な武装解除を求めている。

\* 3月19日、トルコのエルドアン大統領が演説で大統領権限強化の是非を問うため4月に行われる国民投票をめぐり関係が悪化しているドイツのメルケル首相に対し、「ナチスの手法を用いている」と批判した。

\* 3月19日、ドイツの社会民主党（SDP）が党大会を開き、マルティン・シュルツ前EU議会議長を全会一致で党首に選んだ。

\* 3月20日。トランプ大統領がホワイトハウスでイラクのアバディ首相と初めて会談し、「イスラム国」掃討戦に一層協力して取り組むことを申し合わせた。

\* 3月20日、FBIのコミー長官が、米国下院情報委員会の公聴会で、昨年の大統領選挙での共和党・トランプ陣営とロシアとの共謀疑惑について捜査していると明らかにした。

\* 3月20日、シリア北部のラッカ付近の町マンスーラで米軍主導の有志連合によると見られる空爆が学校校舎にあり、少なくとも33人が死亡した。

\* 3月20日、フィリピンのドゥテルテ大統領が、同日から3日間ミャンマー、タイを訪問した。タイでは、プラユット暫定首相と会談し、中国とASEANとの南シナ海行動規範（COC）の枠組み合意を2017年末までに実現するため協力をすすめると表明した。

\* 3月21日、米国国家安全保障会議（NSC）のフォード上級部長が来週からニューヨークの国連本部で交渉が始まる「核兵器禁止条約」について、「世界を一層危険で不安定にする」と痛烈に批判した。

\* 3月21日、米国国土安全保障省がテロ対策を目的に中東と北アフリカの8ヶ国10空港から米国に向かう旅客機でパソコンなど「携帯電話より大きな電子機器」の機内持ち込みを禁止すると発表した。

\* 3月22日朝、北朝鮮が東部の江原道元山付近から弾道ミサイル1発を発射した。期待は十分冗長せず、空中爆発したと、韓国国防省が公表した。

\* 3月22日、イギリスのロンドン有数の観光地である国会議事堂とその周辺で。乗用車と刃物による殺傷事件が発生し、男性警官と通行人3人の計4人が犠牲になり、約40人が重軽傷を負った。「イスラム国」系列の「アマク通信」が犯行声明を發出。

\* 3月22日、シリア北部マンスーラで米軍主導の有志連合が学校校舎を空爆し、少なくとも33人が死亡した。

\* 3月22日、ドイツのシュタインマイヤー大統領がベルリンの上下両院合同総会で就任演説を行い、権威主義に引き付けられる傾向が欧州にも浸透していると懸念を表明した。

\* 3月23日、ウクライナの首都キエフ中心部の路上でロシアの前下院議員デニス・ボルネンコフ45）が射殺された。同氏は昨年末にウクライナ国籍を取得、その後プーチン政権を厳しく批判していた。

\* 3月23日、米国国内のユダヤ系コミュニティーセンターなどへの爆破予告に関与したとして、イスラエル警察が同国内のユダヤ人男性（19）を逮捕した。

\* 3月24日、ロシアのプーチン大統領がモスクワを訪問したフランスの国民戦線 (FN) のルペン党首と会談した。異例の厚遇で、フランス大統領選挙に立候補しているルペン氏を支援する姿勢を明らかにした。

\* 3月24日、トランプ大統領が大統領選挙の公約に掲げた「医療保険制度改革 (オバマケア)」の撤廃を目指して与党・共和党が出した代替案について、撤回する意向を表明した。

\* 3月24日、ローマ・カトリック教会のフランシスコ法王が、欧州統合の基礎となったローマ条約締結から60年を記念する25日を前にEU加盟27ヶ国の首脳らういバチカンに迎えて演説し、「恐怖に負け、偽りの安全に閉じこもることを拒否したとき、欧州は新たな希望を見つける」と述べ、欧州に広がる排外主義に警鐘を鳴らした。

\* 3月24日、米国国務省がイランの弾道ミサイル開発に関係する物資を輸出したとして、中国などの11の企業と個人を制裁対象に指定したと発表した。

\* 3月24日、米国政府がカナダからメキシコ湾に原油を送るパイプライン「キーストーンXL」の建設計画を認可した。

\* 3月24日、米国アフリカ軍のワールドハウザー司令官が、国防総省で記者会見し、リビアでロシア兵が活動していることを確認した。

\* 3月25日、東チモールの大統領選挙で同国の中央選挙管理委員会が第2党「東チモール独立革命戦線 (フレティン) のフランシスコ・グテレス党首 (62) が約57%の得票率で初当選したと発表した。

\* 3月25日、イタリアの首都ローマでEUの基礎を築いたローマ条約の調印60周年を記念する首脳会議が開かれ、イギリスを除く27ヶ国首脳は今後のEUの方針を示した「ローマ宣言」を採択した。今後の欧州統合を「異なる速度と強度で」進めると明記した。

\* 3月26日、モスクワ中心部のプーシキン広場でプーチン政権を批判するデモが行われ、1万人以上が参加した。デモは当局の許可なしで行われたため、広場を制圧しようとする警官隊が群衆ともみ合いになるなど一帯は騒然となった

\* 3月27日、ベルギーの首都ブリュッセル中心部の連続テロ犠牲者追悼集會が行われていた広場に極右支持者の一団が乱入、機動隊が排除し10人前後を拘束した。

\* 3月27日、シリアの国営メディアがアサド政府軍が、ロシア空軍機の支援を得て世界遺産の都市遺跡で知られる中部パルミラの全域を奪還したと報じた。

\* 3月27日夜、パキスタンの東部ラホールの遊園地で「パキスタン・タリバン運動 (TTP)」の分派組織による自爆テロが発生し72人が死亡、300人以上が負傷した。同じ頃首都イスラマバードの議会前を暴徒化した群衆数千人が占拠する事件が発生。ラホール州南部に勢力を持つイスラム教スンニ派非合法組織「ラシュカレジャングビ (LEJ)」などの支援が疑われている。

\* 3月28日、イエメン内戦に介入し、反政府勢力への空爆を続けてきたサウジアラビア主導の連合軍が、4月10日からの停戦入りと、イスラム教シーア派武装勢力「フーシ派」との内戦終結への和平協議開始を前に、サウジ人9人とイエメン人109人の捕虜交換を実



施。

\* 3月29日、インドネシア外務省が同国の石炭運搬船がフィリピン領海内で武装集団に襲われ、インドネシア人船員10人が誘拐されたと発表。武装集団は「アブサヤフ」を名乗った由。

\* 3月29日、ブラジル最大政党のブラジル民主運動党（PMDB）が連立政権からの離脱を表明、政権内の閣僚6人を引き上げると表明。PMDBは下院（513議席）で68、上院（81議席）で18を有しているため、与党の議席数は上院で216、下院で26議席となる。

\* 3月29日、シリア中部の要衝カルヤタインで政府軍と「イスラム国」の戦闘員の間で戦闘が発生。政府軍はロシア軍の空爆支援を受けながら、パルミラの奪還後にカルヤタインに進撃して、町を見下ろす幾つかの丘を占領。

\* 3月29日（日本）、戦争法が施行される。同法の廃止を求めて国会前で「総がかり行動委」主催の抗議行動が実施され、主催者発表で3万7000人が参加。

\* 3月30日、ブラジルの大統領府がイルトン・スポーツ相が辞任したと発表。同相は2015年1月にルセフ政権2期目の発足時に就任していた。

\* 3月30日、コロンビア政府が同国第2の規模を持つ左翼ゲリラ民族解放軍（ELN）との和平交渉を開始すると発表。

\* 3月30日、ブラジル法務省が政治のルセフ大統領を批判したとして、8月に開催されるリオ・五輪の警備を中心的に担う国家治安部隊の司令官を罷免した。

\* 3月30日付けロシアのノーボスチ通信によると、アサド大統領が同通信に対して、和平実現後の「暫定政府」に反体制派の参加を認める考えを示した。

\* 3月30日、ペルーのウマラ大統領が5月1日から最低賃金を13%引き上げ月額850ソル（約2万8700円）にすると発表。同大統領は就任翌年の2012年に最低賃金を750ソルに引き上げた。

\* 3月31日、旧ユーゴ国際法廷がセルビアの極右政党党首のボイスラフ・シェシェリ被告（61）に無罪を言い渡す。同被告はセルビア急進党の民兵組織を率いてクロアチアやボスニア・ヘルツェゴビナで「民族浄化」をおおる活動を指揮したとして、2003年に戦争犯罪等9件で起訴されていた。判決は「民兵らの行為を直接指揮したとは言えない」とした。

\* 3月31日、トルコ南東部ディヤクバルで警察車両を狙った自動車爆弾攻撃があり、警官7人が死亡、市民を含む27人が負傷した。当局はPKKによる犯行とみている。